



北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。地域の産学官による応援や若者たちの挑戦の様子などについて、この通信でお届けします！

第1期生の壮行会を開催しました

7月25日(火)、壮行会を札幌市内のホテルで開催し、50名以上の支援者とともに賑々しく第1期生を送り出しました。

第1部では、知事や応援パートナーズリーダー、文部科学省から「多くの方々のご厚意に感謝し、この縁を大切にして海外でがんばってきてほしい」といった激励をいただき、第1期生代表者からの抱負発表を行いました。

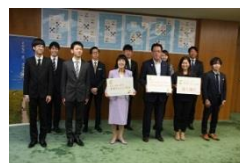
また第2部は立食形式の交流会として開催し、第1期生と応援パートナー、関係者とが直接繋がる場となりました。さらに、第1期生自身の計画のプレゼンを皆で聞き、エールを送りました。

3月に開催予定の報告会でどのように成長した姿を見せてくれるのか、楽しみにお待ちしております。



事前オリエンテーション

留学計画のブラッシュアップやリスクマネジメント、知事からの激励などを実施。



札幌ドームでの激励

北海道日本ハムファイターズの試合前にグラウンド上で。球団のご厚意により実現。



～第1期生の留学が始まっています～

中川 竣貴さん (学生留学コース) ～ハラル食の現地調査で道内企業と海外の架け橋に～

ハラル認証に関する学びのためマレーシア等3カ国へ6か月間の留学。

到着翌日には早速、現地で最も大きな展示会「HALFEST ASEAN 2017」に参加し、出展者や参加者の傾向を調査したほか、ハラル関係団体にヒアリングを行い、イスラム圏進出に向けた考え方や関係構築の注意点を学ぶなど、精力的に活動。

3カ国での現地調査に向けて、まずは英語の語学学校で、英語やハラル専門用語等を勉強しながら、準備を進めています。



齊藤 雄大さん (スポーツコース) ～先進地アメリカに学び、道内に障がい者スポーツの拠点を～

障がい者スポーツ先進国アメリカの大学で1年間の研修。

アメリカでは、障がい者スポーツのカレッジスポーツ(大学部活)があり、中でも、車椅子バスケットボールで8度の全米優勝に輝き、パラリンピックのアメリカ代表選手を多数輩出するなど数多くの実績を持つ「UTA Movin' Mavs」という車椅子スポーツチームで練習・運営に参加している。

また、同時並行の英語クラスでコミュニケーションについても勉強しています。



古里 裕之さん (未来の匠コース) ～本場フランスで研鑽を積み、道産ジビエ料理に革新を～

本場フランス(ランス・パリ)のレストランで6か月間の研修。

シャンパン等に合う酸味を加える料理を提供する「l'Assiette champenoise」で、現地の畑、作り手から生まれる食材、それらを元につくる調味料の使い方、料理の仕方など、日本との違いに衝撃を受けながら、一つでも多くのことをマスターし、日本とフランスの比較から、道内の料理をどう発展させていくかを考えています。



ほっかいどう未来チャレンジ基金

応援パートナーの皆様

(平成29年9月現在)

【平成28年度～】

◎個人の皆様 (50音順) ・武田孝 様 (拓殖工業(株)代表取締役会長) ・船津秀樹 様

◎企業の皆様 (50音順)



・その他匿名希望の企業様 1

【平成29年度～】

◎個人の皆様 (50音順) ・遠藤光二 様

◎企業の皆様 (50音順)

